

《広報》 社協だより 中田中部地区

安心して暮らせる袋原 のために(第2弾)

『認知症と暮らす地域づくりに向けて』の第2弾は、9月13日(金)と9月30日(月)の13時30分より、袋原コミュニティ・センターで行われ、総勢105名が参加されました。

今回は昨年が続いて二つ町内会毎に別れての開催となりました。

講師として、東北福祉大学教授・都築光一氏から『認知症と暮らす地域づくりに向けて』のテーマで、地域における認知症の方々への対応と災害時に、どのような行動をするべきかのお話がありました。

認知症の人と家族の会宮城県支部世話人・千葉由美さんから『家族が行える認知症の人への対応と工夫』と題して、お母さんへの介護を8年間も続けた貴重な介護の体験談を聞くことができました。

介護とは、『怒ってはいけない』、悩みがあったら『仲間との話し合いをする』など、これまでの経験を聞かせて頂きました。

グループワークでは、『それぞれの活動を振り返り、支え合いのために一人ひとりができることについて一緒に考えてみましょう!』と題して皆さんで話し合いました。

挨拶では、中田中部地区社会福祉協議会会長山口義晴から『前回に引き続き、安心して暮らせる袋原のために第2弾を開催しました。前回よりも多くの方々に参加していただいたことに感謝申し上げます。』

中田中部地区社会福祉協議会の茶話会は、11町内会の全部で活動しています、このような地域は太白区内でも珍しく、自慢できる地域です。茶話会を開催することで地域の方々との安否確認も含めたコミュニケーションが取れる活と思っています。』と挨拶。

閉会の挨拶では、袋原包括支援センター所長・木田悦子さんから、『地域の困りごとや家庭での困りごとなどなんでも結構ですので、お気軽に袋原包括支援センターにご相談ください』と挨拶がありました。

安全安心で暮らせる地域を作っていきましょう!